



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字の活動に日頃からご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年から、深刻な問題となっている新型コロナウイルス感染症は、世界でも多くの方が犠牲となり、人々の生活や経済に与えたダメージは計り知れないものがあります。

この未知の病との戦いに、日本赤十字社は、当初から総力を挙げて取り組みました。昨年2月の横浜港クルーズ船内への医療チームの派遣に始まり、7月には九州地方を中心とした豪雨災害が発生し、感染症のまん延下というこれまでにない困難な状況に遭遇された住民の方々に対して医療救護班を派遣するなどの災害救護活動を実施しました。

現在も日赤病院での患者、感染者の受け入れ、ウイルスがもたらす不安・偏見・差別をなくすための啓発活動などに全力を尽くしておりますが、感染症に対するこれら日赤の活動に対して、日本全国からいただいた温かい励ましのお言葉や様々なご支援は、第一線で働くスタッフにどれほどの勇気を与え、今日まで苦難に立ち向かうことができる心の糧となったことでしょうか。

国民挙げての取り組みにより、一日も早くこの困難な事態が終息することを祈りたいと思います。

時代の変化はますます加速し、それに伴い、私たちが取り組むべき課題もさらに広がりを見せています。私たち赤十字は「救うを託されている」団体であるということを信念として、柔軟な発想に立って考え、多くの課題に果敢に対応していかなければなりません。

毎年5月は、1901年に第1回ノーベル平和賞を受賞した赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日(5月8日)にちなみ、赤十字活動を普及するための「赤十字運動月間」としてしています。皆さまには本年も、温かく力強いご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

令和3年5月

日本赤十字社 社長

大塚義治